

村上市上下水道事業審議会 議事録（要約版）

会議名	第3期 第6回村上市上下水道事業審議会
年月日	令和6年7月25日（木） 13:30～15:36
会場	村上市役所荒川支所 2階 会議室
出席委員	大串葉子、鷺見英司、加藤明、梅田久子、遠藤誠作、酒井航、瀬賀秀雄、【委員7名】
欠席委員	山貝有紀子【委員1名】
事務局	<p>上下水道課 課長 稲垣秀和</p> <p>経営企画室 室長 林奈美、副参事 本間かおり、副参事 石井美勝</p> <p>主査 小松直人、主事 大嶋上総</p> <p>業務室 室長 齋藤健一、副参事 大矢純</p> <p>工事管理室 室長 渡邊貴志、課長補佐 伊藤孝雄</p> <p>副参事 伊與部貞幸、係長 小田和彦</p> <p>荒川支所産業建設課 課長 渡邊修</p> <p>朝日支所産業建設課 課長 鈴木健次</p> <p>山北支所産業建設課 課長 森山治人</p> <p>【事務局15人】</p>
傍聴者	4名
次第	<p>1 開会</p> <p>2 挨拶</p> <p>3 議事</p> <p>（1）前回までの振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・下水道（污水）事業の建設改良計画について</li> <li>・投資財源見通し（下水道事業）</li> </ul> <p>（2）下水道使用料改定案について</p> <p>4 その他</p> <p>5 閉会</p> <p><b>1 開会</b></p> <p>&lt;本日の審議会の成立について&gt;</p> <p>委員総数8名のところ、7名の出席により村上市上下水道事業審議会条例第6条第2項の規定に基づき、本日の会議は成立することを報告する。</p> <p><b>2 挨拶</b></p> <p>&lt;課長あいさつ&gt;</p>

事務局	<b>3 議事</b>
	<b>(1) 前回までの振り返り</b>
会 長	下水道事業では、運営費が毎年2億円不足しており一般財源からの繰出が生じている。また、設備投資にかかった費用の返済が年間35億円必要である。村上市にとって上下水道事業は大きく費用も莫大であることを認識した上で料金体系の議論を進めたい。
事務局	<「下水道（汚水）事業の建設改良計画について」説明…資料1>
会 長	これまでの計画に基づくと今後10年間で77億8千万円の投資に対して6億8千万円の削減というイメージ。
副会長	未反映というのは資料2の数値のみか。削減策の方はどの程度未反映なのか。
事務局	集排側は縮小するが、受入先は新たな費用が発生する。この算定が不十分であるため資料2の削減策には反映していない。また、増える費用についても反映していない。
	<「投資財源見通し（下水道事業）」説明…資料2>
会 長	繰入金における基準外を0にするには34%の料金改定が必要という現状。
事務局	補足として、上下水道事業の組織体制について説明したい。令和2年度に45人いた職員数が令和6年度では37人となった。その結果、約4千～5千万円の人件費が抑制された。人件費だけではないが、支出費用の削減も図っていく。その反面、技術職員不足という課題が残る。
会長	下水道事業は、一般会計からの繰入金が12億円と大きく、費用抑制も含めて今後の投資の在り方を検討しているが、今回は従来どおりの計画で数値を出してもらっている。
	<「下水道使用料改定案について」説明…資料3>
副会長	16ページ左下に8億3千4百万円とあり、これは資料2での実績の使用料収入に該当すると思うが、使用料算定期間の5年間の理論値はどこに合わせているのか。

事務局	令和7年度から11年度までの費用の積み上げを5で割って単年度に算出した考え方となっている。
委員	63%と34.4%とあるが、計算するベースが違うので比較として並べない方がいいのではないかと思う。
委員	組織体制の補足説明にて、技術職がいらないと言っていたが、10人とあるのはなぜか。
事務局	技術職は現在10人いる。ただし、市全体として技術職が不足しており専門職としての採用が昨年度もなかった状況にある。
委員	全国的に専門職不足の傾向にあるので何か対応が必要だと思う。 また、今回の資料において、市民へ伝えていく場などを設ける必要があると思う。参考までに新潟市の資料があるが、非常に分かりやすい作りになっている。料金改定に向けて市民への理解度を上げるためにももっと情報提供があるといいと思う。
事務局	公営企業としての採用など、技術職の人員確保に向けて改めて考えていきたい。 また、情報発信の手法においても至らない点があると認識している。他の自治体を参考にしながら引き続き情報発信に努めたい。
会長	技術職に関しては県レベルで不足している。リカレント教育や補助制度を活用して色々な方法で工夫してもらいたい。
委員	3点ほどお聞きしたい。 月20トン使用した場合の水道料金はいくらか。 料金改定において国は基本水量をなくす料金体系を示しているが、検討はしなかったのか。また、月10トン以下の少量利用者への議論はなかったのか。 投資計画で77億円とあるが、下水道資産が1千2百億あるなかで34%上げたとして何年もつのか。5年後の展望をどう考えているのか。
事務局	月20トン使用した場合の水道料金は税抜きで2千8百円。 料金体系に関しては、令和4年6月に料金改定したばかりであるため、混乱をさけるために同じ構成での検討をお願いしたい。 投資計画においては、同年度に多くの施設を建設したため、優先順位をつけて必要最低限の更新という計画をもとに試算している。

委員	今回の改定で何年持つ見込みなのか。
事務局	今回の算定期間では、維持管理費の回収率100%を目指している。まずは基準外の繰入を0とし、5年ごとに料金の見直しや一般会計との調整を考えていきたい。
委員	7月の市報3ページにおいて、集合処理方式と個別処理方式とあるが、今回の計画でいくと集合処理から個別処理への変換は考えていないと捉えてよいか。
事務局	現在の計画では考慮していないが、現在変換に向けて進めている最中なので、その結果をもって公表を考えている。
委員	例えば、個別処理に移行した場合にどの程度費用が削減されるといった試算も必要となると思うが、今回の計画では反映されているのか。
事務局	現時点では見込んでいないが、集合処理施設の改良更新費用と合併浄化槽の設置費用等との比較を整理して進めていきたい。
委員	基準外に頼らずに維持管理費を賄えるだけの料金収入を得ることが狙いとすれば、資料1及び資料2にある建設改良費では収まらないのではないかと。その不足分を企業債で補うとすれば、企業債償還金が今後は増えてくるといった見通しが適否か。 資料1で35年以上経過している施設があるが、これらの改修に着手した場合、処理能力をどこまで維持するのかといった議論がされているのか。
事務局	人口減少に影響するのは水処理関係になるが、改築更新する際に再計算するように国から指導されている。 ストックマネジメント計画において、施設内部の部分まで優先順位を設定している。施設全部を更新するのではなく、影響がある部分だけを優先して更新するというルールを決めて積み上げている。
事務局	企業債償還元金について、財政収支見通しにおける償還見通しは反映している。ただし、事業転換した場合の投資計画は見込んでいないため、中長期的な計画時点に影響してくるものと思う。
委員	市報のトップで記事を掲載したのはよかったと思う。市民に知っていただくことが一番大切。この記事を見た市民から多くの問い合わせがあり、色々と話をさせていた

	<p>だいたなかで、下水道の赤字という負の遺産を孫たちの代に持たせないためにも料金改定が必要であるのご理解いただいた。今後も市報への掲載を続けてほしい。</p> <p>下水道未接続の方がいると思うが、市全体の何%か？また、未接続の方との不公平感をなくすため、市として広報に努めてもらいたい。</p> <p>事務局 市報については、もっと丁寧で詳しく説明すべきところが多々あると思う。今後も継続して市民の方に分かりやすい内容で発信していきたい。</p> <p>水洗化については、79%が接続してご利用いただいている。接続のお願いについては、補助制度のPRなどを行いつつ根気強く続けていきたい。</p> <p>委員 私個人にも問い合わせがあるほど、市民間でも関心が高まっている。もっと関心を持っていただいて、議論が市中であがれば料金改定の意向に沿えると思う。</p> <p>会長 次の世代に負担させない、今使われている方々に費用を賄っていただく料金計算であると思う。</p> <p>先ほど、集合から個別に移行する話があったが、実際に合併浄化槽を利用している方と下水道に接続されている方で料金設定に不公平感が生まれてるという資料を委員から提出いただいている。浄化槽利用者が月6千円負担している一方で下水道利用者は2千7百円しか負担していない。下水道の方が安いのに多額の税金が投入されていて、不公平感が醸成されていると書かれている。委員から資料についての説明をお願いしたい。</p> <p>委員 一番言いたいことは、下水道料金は一般的に安い。全国平均で上水道料金の7割くらい。今回の改定はそれだけ市の覚悟が見えるので素晴らしいと思うが、一般論でいえば、下水道は赤字なのに浄化槽利用よりも安いのはおかしい。この資料でも、赤字の下水道に市が補填して帳尻を合わせているのに、下水道料金の方が安くなっている。すなわち、料金改定の議論になったとき、最低でも浄化槽利用者の負担ぐらいまで上げても説明がつくのではないか。</p> <p>村上市の下水道事業は1千億円台の固定資産をもっているのに対して料金収入が8億円で、毎年31億円も一般会計から繰り入れている。これで今後も続けていけるのだろうか。先ほど負の遺産という話がでたが、世代間の負担の公平という理屈はもう通用しない。人口減少の進む中、施設をどう集約していくのかを今考える必要がある。</p> <p>家計調査では、電気料金の平均が1万円に対し、上下水道料金は5千円くらい。料金を上げるとしても1万円以上は取れないだろう。その中で運営できるように規模を縮小して資産の更新を進めていくしかない。</p>
--	--

会 長	今後に向けて我々も覚悟をもって議論を進めていく必要を感じた次第である。
委 員	料金改定について3パターンを示してもらったが、仮に有収水量が下がった場合、どう影響があるかをパターン別に示した方がいいと思う。また、調定件数の分布についても、過去からどう現状に変わってきたかを出してもらえるといいと思う。
会 長	<p>今のご意見を取り入れて次回資料の作成をお願いしたい。</p> <p>それでは、次回の審議会に向けて事務局からご説明をお願いします。</p>
事務局	<p>今回、お示しした3パターンでの料金改定を考えている。次回にこの3パターンについて議論をいただきたい。</p> <p>次回審議会に向けては、水道事業の財源見通しの中で改定率を13.5%でお示したが、見直しを図った結果13%と定めて次回のシミュレーションをお示ししたい。また、次回に詳しい水道の投資財源計画を説明していきたい。</p> <p><b>4 その他</b></p> <p>&lt;事務局から事務連絡&gt;</p> <p><b>5 閉会</b></p> <p>&lt;副会長あいさつ&gt;</p> <p>今回も議論が深まったと思う。次回は3パターンについての論議を深めたいと思う。効率よく意見を出し合ってまとめていきたい。</p>